「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律第二条第二項各号又は第三項各号のいずれにも該当しないと認められる化学物質その他の同条第五項に規定する評価を行うことが必要と認められないものとして厚生労働大臣、経済産業大臣及び環境大臣が指定する化学物質の一部を改正する件（案）」に対する意見公募の結果について

令和 5 年 3 月 3 1 日

厚生労働省医薬・生活衛生局医薬品審査管理課化学物質安全対策室
経済産業省製造産業局化学物質管理課化学物質安全室
環境省大臣官房環境保健部環境保健企画管理課化学物質審査室

令和5年1月4日付けで「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律第二条第二項各号又は第三項各号のいずれにも該当しないと認められる化学物質その他の同条第五項に規定する評価を行うことが必要と認められないものとして厚生労働大臣、経済産業大臣及び環境大臣が指定する化学物質の一部を改正する件（案）」に対する意見公募を行ったところ、以下のとおり御意見を頂きました。

頂いた御意見並びに御意見に対する厚生労働省、経済産業省及び環境省の考え方を別紙に取りまとめましたので公表します。

今回御意見をお寄せいただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

1. 意見公募の実施方法

- (1) 意見募集期間：令和5年1月4日（水）～令和5年2月3日（金）
- (2) 資料入手方法：電子政府の総合窓口（e-Gov）、厚生労働省・経済産業省及び環境省のホームページ、窓口配布
- (3) 意見提出方法：e-Govの意見提出フォーム、電子メール又は郵送

2. 御意見等の総数

7件

3. 問合せ先

- 厚生労働省医薬・生活衛生局医薬品審査管理課化学物質安全対策室
TEL：03-5253-1111（内線2428）
- 経済産業省製造産業局化学物質管理課化学物質安全室
TEL：03-3501-1511（内線3701）
- 環境省大臣官房環境保健部環境保健企画管理課化学物質審査室
TEL：03-3581-3351（内線6367）

(別紙)

「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律第二条第二項各号又は第三項各号のいずれにも該当しないと認められる化学物質その他の同条第五項に規定する評価を行うことが必要と認められないものとして厚生労働大臣、経済産業大臣及び環境大臣が指定する化学物質の一部を改正する件(案)」に対する御意見及び御意見に対する考え方

	御意見	御意見に対する考え方
1	<p>・ 場所 PDF 1 P 目 表の上から 4 つ目</p> <p>・ 意見 塩化物が入っているので、製造するのに制限をかける必要がある</p> <p>・ 理由 塩化物がフロンよりもたくさんのオゾン層を壊すという話があるから、です。</p>	<p>本改正は、意見募集対象の別添 1 に掲げる化学物質について、当該化学物質による環境の汚染により人の健康に係る被害又は生活環境動植物の生息若しくは生育に係る被害を生ずるおそれがないと認められるものであるため、国によるリスク評価を行う必要がないものとして、当該リスク評価に必要な製造・輸入実績数量等の届出を不要とするものです。化学物質の製造・輸入等の取扱いに係る規制を緩和するものではありません。</p>
2	<p>・ 場所 PDF 6 P 目 表の下から 4 つ目</p> <p>・ 意見 フッ素が入っているので、製造するのに制限をかける必要がある</p> <p>・ 理由 人体に入ったときに脳の松果体に集積され、睡眠障害を引き起こす可能性があるため、です。</p>	<p>本改正は、意見募集対象の別添 1 に掲げる化学物質について、当該化学物質による環境の汚染により人の健康に係る被害又は生活環境動植物の生息若しくは生育に係る被害を生ずるおそれがないと認められるものであるため、国によるリスク評価を行う必要がないものとして、当該リスク評価に必要な製造・輸入実績数量等の届出を不要とするものです。化学物質の製造・輸入等の取扱いに係る規制を緩和するものではありません。</p>
3	<p>・ 場所 PDF 8 P 目 表の上から 1 つ目及び表の下から 5 つ目</p> <p>・ 意見 フッ化物が入っているので、製造するのに制限をかける必要がある。</p> <p>・ 理由 フッ化物が体内に入ったら脳</p>	<p>本改正は、意見募集対象の別添 1 に掲げる化学物質について、当該化学物質による環境の汚染により人の健康に係る被害又は生活環境動植物の生息若しくは生育に係る被害を生ずるおそれがないと認められるものであるため、国によるリスク評価を行う必要がないものとして、当該リスク評価に必要な製造・輸入実績数量等の届出を不要とするものです。化学物質の製造・輸入等の取扱いに係る規制を緩和するものではありません。</p>

	<p>の松果体に集積されて睡眠障害を引き起こす、という話があるから、です。</p>	
4	<p>・場所</p> <p>PDF 1 P 目 表の下から 1 つ目</p> <p>PDF 2 P 目 表の上から 2 つ目</p> <p>PDF 2 P 目 表の下から 1 つ目</p> <p>PDF 3 P 目 表の下から 4 つ目</p> <p>PDF 4 P 目 表の上から 1 つ目</p> <p>PDF 8 P 目 表の上から 2 つ目</p> <p>・意見</p> <p>アクリルアミドが入っているので、製造するのに制限をかける必要がある。</p> <p>・理由</p> <p>アクリルアミドは発がん性物質として有名な物質です。工業的に有用な物質でも、必ず大体出来る物質が存在しています。</p> <p>製品にアクリルアミドが含まれる場合、使用中や使用後の処分の段階で必ず遊離し、環境にばら撒かれることが予想されます。</p> <p>なので、環境への影響も考慮して、制限をかけるほうがよいと思うから、です。</p>	<p>本改正は、意見募集対象の別添 1 に掲げる化学物質について、当該化学物質による環境の汚染により人の健康に係る被害又は生活環境動植物の生息若しくは生育に係る被害を生ずるおそれがないと認められるものであるため、国によるリスク評価を行う必要がないものとして、当該リスク評価に必要な製造・輸入実績数量等の届出を不要とするものです。化学物質の製造・輸入等の取扱いに係る規制を緩和するものではありません。</p>
5	<p>(6)-18 「…であるものに限る。」に限る。」は「…であるものに限る。」の誤植と思われるので修正されたい。</p>	<p>当該化学物質の官報公示名称案は、官報公示番号(6)-18 (エチレン・ブテン共重合体) に包含される物質群のうち、「ブター 1-エン・エテン共重合体 (水、酸及びアルカリに不溶であり、分子量 1,000 未満の成分の含有率</p>

		が1%以下であるものに限る。)」に該当するものに限定することを示しており誤植ではございませんので、原案のとおりとさせていただきます。
6	概要 p2-3 (2) [1] 「また、大気については元素であることから」は科学的に不正確である。「単体」が本意であると思われるが、二酸化炭素が除外される。また、オゾンのように単一元素からなる有害気体も存在する。	頂いた御意見につきましては、今回の意見募集の対象ではありませんが、今後の参考とさせていただきます。
7	概要 p2-3 (2) [2] 「NO3 2-」は「NO3-」の誤植と思われるので修正されたい。	頂いた御意見につきましては、今回の意見募集の対象ではありませんが、今後の参考とさせていただきます。